

「同窓会会場の確保について」 1

新型コロナウイルスの感染拡大もひと段落し5類に分類された2023年それまで自粛されていた同窓会が全校的に開催されました。

私も2022年の暮れに同級生に依頼され茂原小学校と萩原小学校の昭和40年度卒業生の同窓会の幹事長として2023年1月合同同窓会の準備を始めました。

まず会場探しですが、8年前に行われた合同同窓会はプラザ平安で開催されましたが、ご存知の通り閉鎖解体されてしまいました。

茂原市内で駅から近く、駐車場があり、使用料の安い100名規模の宴会のできる会場ということで探した結果、茂原総合市民センターが候補に上がりました。

早速、事務所を訪ね4階大ホールの日曜日の空き状況を確認すると7月23日のみ午前9時から午後1時まで空いていました。そのほかの全ての日曜日は年間を通して茂原市交響楽団と茂原市が押さえておりました。

予約は3ヶ月間の朝9時からと告げられ、4月22日午前8時30分から入り口で待機し9時ちょうどに入館し無事予約を取ることが出来ました。

茂原市交響楽団の代表者の方に7月23日の練習を1時間ずらし午後2時からにしてもらうことを事務所の方が交渉してくださり2時まで利用することになりました。

当日は会場準備を9時から行い10時に開会、12時に会食(オードブルをケータリング)1時に閉会し、後片付けを行い2時に退出しました。

古希を迎える100人の男女が一瞬で小学生時代にタイムスリップし、至福の時間を過ごすことが出来ました。

茂原市には現在、小学校13校、中学校7校、高等学校4校があります。毎年卒業する生徒数を小学校3000人、中学校3000人、高等学校1000人とすると合計7000人の人が何年かに一度、同窓会に参加し茂原を訪れます。

毎年7000人として20歳から60歳までの40年間において10年に一度の開催で参加率を50%とした場合、 $7000 \times 40 \times 0.1 \times 50\% = 14000$ となります。

今回私たち70歳の参加率は25%でしたので少なく見積もっても7000です。

年間7000人の人が茂原市を訪れ参加費(5000円~10000円)を支払います。その後も二次会、三次会、そしてお土産購入とお金を茂原市に落とします。

そんな機会を、会場が無いばかりに近隣の白子町や一宮町のホテルに奪われている現実を目に向け、茂原市として会場を提供できるアイデアを出せないでしょうか？

駅に隣接する旧そごうのビルのワンフロアに音響設備、イスとテーブルの備品を準備し貸しホールとし、食事や飲み物は業者のケータリングで済ませることで実現できます。

「同窓会会場の確保について」 2

茂原市としてそのような施設を提供することにより、幼少期や青春時代を茂原市で過ごした出身者が故郷に対する思いを深くする良い機会になると思われますし、Uターン現象の引き金にもなります。

運営上の賃貸料、冷暖房光熱費、必要経費、人件費などを試算した上で実現可能な施策でしたらぜひ実現していただきたくお願い申し上げます。

同窓会等のホールの利用は週末に限られると思われしますので、空いている日は、スポーツ庁の指導で令和5年度より開始されました、「部活動の地域連携、地域移行」に対応し小学生中学生のスポーツ活動や文化活動の拠点として利用できれば、利用料も徴収でき経済的な独立採算制も確立できると思います。

2024年1月22日

茂原市議会事務局 御中

茂原小萩原小昭和40年度卒業生合同同窓会 会長 野口 雅一
297-0065 茂原市緑ヶ丘2-22-4
メールアドレス midorigaoka42195@icloud.com
携帯電話 090-3006-7708